

令和6年（2024）度 事業報告書

（令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで）

特定非営利活動法人 こども医療支援 わらびの会

1. 事業実施の方針

★ わらびの会運営組織の明確化及び各団体との連携強化を図る。

【1】ファミリーハウス「がじゅまるの家」運営は、理念に添って統括主任を核に利用者が安心・安全に心身共に安らげる滞在施設となるよう努めた。PCシステムの本格稼働による仕事の効率化を図ると共に利用状況等詳細なデータを運営に活かした。県立図書館一括貸出システム（6か月）の継続利用により、保護者向けの本の充実を図った。

【2】病院ボランティアに関する事業は、病院で活動するボランティアを増やすための取組みを行った。

①病院ボランティア養成講座については民間福祉基金助成を受けて第34期 及び 35期の養成講座を実施し、中北部への拡大を目指した。また、移転した琉球大学病院での病院ボランティア活動再開に向けては休止。

②ボランティア養成及びスキルアップのための勉強会を開催し継続した活動に繋げると共にボランティアの増員を図った。

③中北部地区でのボランティアが活動する病院を増やすための検討を理事で話し合った。

【3】広報事業は、わらびの会が「何をしているか」を知ってもらい、認知度を向上させファンを増やすための取組みを行った。

①既存のHPやSNSの運用を実施しつつ、HPのリニューアルに向けてサイト制作及び運用を開始する準備を行った。

②わらびの会広報用の小冊子を制作し、関係各所に配布を行った。

③会報誌として「アニュアルレポート」及び「ニュースレター」を発行し、関係各所へ活動報告を行った。

【4】沖縄県小児慢性特定疾病児自立支援事業（ピアカウンセリング事業）は、病気や障がいのあるこどもとその家族にピアサポーターとして寄り添うための取組みを行った。

①沖縄県小児慢性特定疾病児自立支援事業（ピアカウンセリング事業）を沖縄県より委託を受け、こども医療センター及びわらびの会構成団体でのピアサポート活動を継続し行った。

②ピアサポートセミナー及び勉強会を開催し、ピアサポーターの養成と質の向上、潜在的ピアサポーターの掘り起こしを図った。（潜在的ピアサポーター掘り起こしのためのEラーニングの活用スタート）

【5】その他、目的達成事業

◎合同クリスマス会を開催、クリスマス会がこども達の発表の場となり成長へ繋がった、また保護者へのレスパイトも提供できた。

◎構成団体交流事業として、他団体の主催するマリンアクティビティ体験イベントに参加し交流を楽しむ機会を提供した。

◎ファミリーハウス「がじゅまるの家」での預かり保育の実施 及び病児・家族へ向けてのレスパイトとして、様々なイベントなどを開催し病児とその家族を支援した。

◎コロナウイルスの影響で休止していたこども病院ラジオ(キラキラぷればランド) に変わる活動を検討中。

◎夢プロジェクトは、継続の可否を含め長期的視点で内容及び取組みについての再検討を行った。